

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス メイプル学園		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●同じ敷地内に学童保育が併設しており、日々一緒に学び、遊びながら交流できている。	法人内のイベントや長期休みなど、一緒に行動することでコミュニケーションや対人関係の発展に役立っている。	学童のスタッフとの連携をより充実して保護者支援についても一体化していく。
2	●運動・音楽など、専門知識のあるスタッフが活動の支援をしている。	ダンス・サッカー・音楽など、児童の興味や得意を伸ばすよう工夫している。	興味や得意を引き出して、自己肯定感につながっていくように取り組んでいく
3	学校との連携が取れている。	年に数回学校に向向き、それぞれの担任と情報共有し、コミュニケーションを増やしている。	必要に応じてさらに迅速に情報共有ができるような関係を築いていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●事務所で活動が、「どのようなことが行われているかわからない」との声があった。	活動や訓練など、伝達の方法が不十分だったのではないかと考えられ、その必要性への知識も不足していたかもしれない。	日々の連絡帳でのお知らせに加えて、お便りなどへの詳しい記載など伝達の方法を考えていく。
2	●保護者会・面談等、会への参加が少なかった。	早めに企画をしていたが、保護者様の都合を優先し、参加へのお誘いや、内容などの説明も足りていなかったため、結果参加が少なかったと考えられる。	企画の仕方と、ご説明の内容を考え、参加につなげていく。
3	●ご家族間の交流の機会が少ないのでは？との指摘を受けた	保護者会でのテーマを利用時に対する要望ばかりを意識していたため、保護者間の交流また、ご家族支援への考えが足りていなかった。	保護者会の意味を考え直すとともに、保護者様のご要望を日頃より細かくお聞きしていくことで支援の幅を広げていく。